

混声合唱

# 玉川学園校歌

田尾一一 作詞  
岡本敏明 作曲

荘重に ♩=120

そ ら た か く の じ は は る け し こ

の お か に わ れ ら は つ ど い - - - わ

が た ま の ま - な び や も ら ん

## 玉川学園校歌

田尾一一 作詞  
岡本敏明 作曲

一、空高く 野路は遥けし

この丘に 我らは集い

わが魂たまの 学舎ま守らん

二、星あおき 朝あしたに学び

風わたる 野すきに鋤すき振う

かくて我ら 人とは成らん

三、神います み空を仰げ

神はわが 遠とほつみ祖おや

わが業わざを よみし給わん

玉川学園校歌の内容について

校歌の内容は、玉川学園の教育の核となる勉強すること、働くこと、信ずることという基本構想を、美しい夢として、詩にまとめられています。

校歌の一番の「空高く」は、聖山に立ち、相模平野を見渡したとき、大きく広がる空と景観の印象です。大自然に抱かれたこの丘に集う私たちは、自分たちの学舎をどこまでも魂の道場として守り続けたい、という決意が歌い込まれています。

二番では、星もまだ空にのこる朝（広い意味で午前中）に、勉強や読書をし、風わたる日中には鋤（すき）で大地を切り拓く、つまり知行合一を実行してこそ人間になつていくんだ、という人間教育の真髄を歌い上げています。

三番では、天を仰げば神様がおられる。天地を創りたもうた神様は私たちの「とおつみおや」（遠い祖先）である、私たちが一生懸命がんばっている姿「吾がわざ」をきつと愛でたたえて下さっているにちがいない、という絶対者に対するおもいが歌われています。

このように校歌は、学校の教育理念を色濃く反映しています。校歌に込められたメッセージは現在においても、玉川教育の実践の中に褪せることなく息づいています。

混声合唱 学 生 歌

ドイツ民謡  
岡本敏明作詞

Maestoso

1~3.わ が ゆ く み ち は は る け き か な た

の ぞ ゐ に わ が む ね た か な り お ど る よ  
あ せ し は た げ る も ひ う で ま く り じ め わ が と も

1~3.う た ご え た か く い さ み て す す め

学 生 歌

岡本敏明 作詞  
ドイツ民謡

一 我が行く道は

はるけきかなた

希望に我が胸

高鳴りおどるよ

歌声たかく  
勇みて進め

二 我が行く道は

はるけきかなた

嵐はたけるも

ひるまじ若人

歌声たかく  
勇みて進め

三 我が行く道は

はるけきかなた

手をとれわが友

腕くめわが友

歌声たかく  
勇みて進め